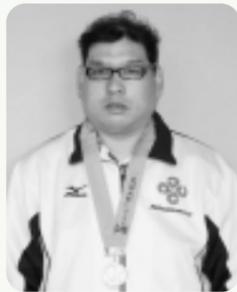


長年 地域医療に尽力 和田成仁副院長(奥出雲病院)を表彰

町立奥出雲病院の和田成仁副院長が、全国自治体病院開設者協議会並びに全国自治体病院協議会から、「へき地医療貢献者」として会長表彰を受賞されました。和田副院長は、諏訪中央病院診療部長などを歴任され、昭和64年1月に町立仁多病院(当時)の整形外科医長に着任、平成7年10月から副院長に就任され奥出雲町の地域医療に貢献されています。

この間、病院の移転新築、電子カルテシステムの構築に尽力されました。また、院長の片腕となり病院の経営改善や医療改善に取り組むほか、各種健康教室・講演会、将来の医療技術者の育成に、積極的に取り組まれています。



第10回全国障害者スポーツ大会 伊藤 純さんが銀メダル獲得

国内最大の障がい者スポーツ大会「第10回全国障害者スポーツ大会 ゆめ半島千葉大会」が10月23日から25日まで千葉県で開催され、島根県代表としてボウリング種目に出場した伊藤純さん(小馬木)が、見事銀メダルを獲得されました。

伊藤さんは第8回大会でもメダルを獲得されており、今後も活躍が期待されます。

28年ぶりの大会新記録!! ジュニアオリンピック・走高跳 宇田川萌乃香さんが金メダル獲得



10月22日から24日の3日間、横浜市の日産スタジアムで行われた「第41回ジュニアオリンピック陸上競技大会」走高跳(女子A)において、宇田川萌乃香さん(仁多中3年)が、1m73の大会新記録で優勝し、金メダルを獲得しました。

大会記録が更新されたのは、1982年大会以来28年振りです。宇田川さん自身にとっても自己ベスト更新となりました。

宇田川さんは「ジュニアオリンピックは中学生生活最後の大会。自己ベストを出したいと思っていたので、1m73をクリアできたときは本当に嬉しかった。皆さんの応援のおかげで全力を出し切ることができました」と話されました。



大会新記録と自己ベスト更新で嬉しさも2倍

本年度末の完成を予定する尾原ダム周辺で、十月十日、温泉地区ダム周辺活性化協議会などで組織する実行委員会が開催されました。ダム湖底が見物できる祭りは今回が最後となり、会場には約四千人が訪れ、例年以上の盛り上がりとなりました。開祭イベントでは、亀山幹生実行委員長が「この祭りを通じて上下流域の絆を深め、皆さんと一緒に祭りとの地域を盛り上げたい」とあいさつされました。



尾原ダム湖祭り 大盛況 ダム湖名のお披露目も

ステージ、テント村賑やかに中央ステージでは、仁多中学校吹奏楽部の演奏、奥出雲神代神楽、温泉こども神楽、山陰を拠点に活動するシンガソングライターの六子さんのライブなど多彩なステージイベントが行われました。また、テント村では様々な地元料理が販売され、来場者は食事をしながらステージイベントを観たりするなど、思い思いに祭りを楽しんでいました。

ダム湖名をお披露目するダムの完成によりできるダム湖の名称が決定し、お披露目が行われました。「さくらおろち湖」この湖名は、一般公募で県内外から寄せられた五百三十一案を参考にし、住民、学識経験者等で組織する湖名選考委員会(藤岡大拙委員長)により選考されました。「雲南市「さくら」」「奥出雲町「おろち」」をキーワードに親しみやすい名前として決定されました。

建設現場を間近で見学できるように、現場の一部が開放され、ダム堤体上部から湖底を見ることができたり、展示されている建設重機の運転席に座り、記念撮影をする姿が見られるなど、参加者は貴重な体験を満喫していました。このダム湖祭りは、来年度以降も開催される予定で、ダム周辺住民の絆の醸成や地域活性化につながることを期待されています。



建設重機の内部を見学できました

瑞宝単光章

雲州そろばん製造業従事者 長谷川 充弘さん(稲原)



長谷川さんは、昭和28年6月から雲州そろばん製造業に従事し、昭和34年6月からは独立し現在に至るまで、57年余の永きにわたり雲州そろばん製造業に従事されています。

昭和61年12月には「伝統工芸士」(雲州そろばん・組立部門)に認定され、雲州そろばんという伝統工芸技術を現在に伝えて来られました。

こうした長年にわたる活動により、その功績が認められ叙勲の栄に浴されました。

秋の叙勲

おめでとうございます

瑞宝双光章

保護司 居山 京子さん(三沢)



居山さんは、保護司として昭和51年12月から現在に至る33年余の永きにわたり社会奉仕の精神と人間愛をもって保護司活動に^{じんすい}尽瘁されました。

保護観察対象者に対し、豊かな愛情をもって接するとともに、その家族等への適切な助言により、多数の対象者の改善・更生を図り、また、地域における犯罪予防活動等にも積極的に参加されています。

こうした活動は、他の保護司の模範となるものとして、その功績が認められ叙勲の栄に浴されました。

松本憲二郎 前教育委員 文部科学大臣表彰受賞

前教育委員の松本憲二郎さん(三沢)が、長年にわたる地方教育行政への功績により、10月15日、「地方教育行政功労者文部科学大臣表彰」を受賞されました。

松本さんは、平成7年12月から平成22年5月までの14年間、旧仁多町、奥出雲町の教育委員として、地方教育の進展向上に大きく貢献されました。

